

## 平成24年度における施策評価

## 施策評価調書

政策コード	13	政策名	生涯学習・文化・スポーツの振興			
施策コード	2	施策名	文化活動の振興			
幹事部局コード	3	幹事部局名	観光文化スポーツ部	担当	文化振興課	
評価者・実施日	1次評価（観光文化スポーツ部長）		平成24年7月31日			

## 1 施策の方向性（必要性と目的）

文化施設の活動などを通して、芸術文化が暮らしに根付く環境づくりを進めるとともに、芸術文化に関する情報提供の一層の充実を図る。  
また、地域の文化力を高め、文化力で地域を元気にしていくため、伝統文化や若者を中心とした地域活性化を目指した文化活動などの振興を図り、県民一人ひとりの身近なところから普及・後継者育成のための支援を行う。

## 2 施策の状況

## (1) 施策目標及びその達成状況

●施策目標(評価指標)		基準値	年度	H22	H23	H24	H25	備考
		年度						
①	身近な文化施設で優れた芸術文化に触れることができる。	597,036	目標値	629,150	634,150	639,150	644,150	
		H19	実績値	520,557	656,420			
	主要文化施設の入場者数(年間)による	—	達成率	82.7%	103.5%			
②	自らの芸術文化活動を発表するなど、暮らしの中で芸術文化を楽しむ環境をつくる。	5	目標値	20	25	30	35	
		H19	実績値	13	10			
	「あきた県民芸術祭」参加の民間団体主催事業数(年間)による	—	達成率	65.0%	40.0%			
達成度		—		D	B			

達成度 A:「全て達成」 B:「半分以上達成」 C:「達成が半分未満」 D:「全て未達成」 E:「その他」

## (2) 施策の推進状況

## ①芸術文化が暮らしに根付く環境づくり

## ■取組内容

○県民会館やアトリオン、県立美術館、県立近代美術館などの文化施設の活性化やサービスの向上を図り、身近な文化施設で県民が優れた芸術文化に気軽に触れることができようにする。

## ■取組の成果

○県民会館では自主企画事業を、アトリオンでは県主催事業のほか県民芸術祭2011をアトリオンを主会場に秋田県芸術文化協会との共催により実施したほか、県立美術館や県立近代美術館では企画展・特別展を開催するなど、様々な取組により入場者数の増大やサービスの向上に努めた。また、県主催事業や自主企画事業、企画展・特別展を開催するなどにより身近な文化施設で県民が優れた芸術文化に気軽に触れたり、活動発表するなど、芸術文化を楽しむことができる環境づくりを促進した。

平成23年度入場者数実績 656,420人（前年度比135,863人増）

※内訳：県民会館大ホール 110,949人、アトリオン347,239人、県立美術館54,471人、近代美術館143,761人

## ■課題と今後の推進方向

○各文化施設では、県主催事業、自主企画事業、企画展・特別展などを開催し、引き続き文化施設の活性化に努めていく。県民会館、アトリオンは、経年劣化による設備等の修繕費及び備品更新が必要となっており、緊急度や優先度を踏まえた施工を検討していく。

## ②県民による芸術文化活動への支援

### ■取組内容

○芸術文化活動を行っている団体に対し、活動発表するなど、暮らしの中で芸術文化を楽しむことができる環境づくりを促進する。  
○県内の芸術文化に関する情報提供の一層の充実を図り、魅力ある秋田の文化を県内外に発信する。

### ■取組の成果

○県民文化の振興を図るため、「秋田県芸術文化振興基金補助金」により、民間団体が行う芸術文化活動を支援した。  
○県内の芸術文化に関する情報提供の一層の充実を図るため、文化情報発信サイト「ブンカDEゲンキ」を運営し、秋田県の後援承認、挨拶、知事賞の交付等をした事業について、主催者にサイトの紹介をするとともに事業の広報を行ったほか、団体や個人の活動を随時調査し、ブログ等での紹介やリンクの拡大などを進めた。  
○平成26年開催の国民文化祭の認知度を高め、機運の醸成を図っていくため、国民文化祭サテライトセンターを設置し、情報発信や文化活動の底辺拡大を図った。  
・平成23年度 秋田県芸術文化振興基金補助金実績 24団体 7,007千円  
・平成23年度「ブンカDEゲンキ」アクセス件数 30,741件  
掲載内容 秋田県市町村の文化施設と文化行政の情報（25市町村）、芸術文化協会リスト（市町村別・部門別）、あきた県民芸術祭（年間事業案内・参加団体）、芸術文化関連の助成金（芸術文化振興基金助成金等）、芸術文化事業の秋田県の後援等（後援承認・知事賞・後援事業案内）、リンク（公共施設・民間団体・個人活動）  
・平成23年度 度国民文化祭サテライトセンター来場者数 16,742人

### ■課題と今後の推進方向

○あきた県民芸術祭参加の民間団体主催事業数及び秋田県芸術文化振興基金補助金の補助件数・補助金額の減少傾向は、協賛金、自己資金の確保困難や制度の周知不足などが考えられることから、随時補助金制度の見直しを検討し、事業者に使いやすいものにするとともに効果的な周知方法等について検討していく必要がある。  
○文化情報発信サイト「ブンカDEゲンキ」は、市町村が電話等で随時案内を行ってきた文化施設や芸術文化協会等の連絡先などについてウェブ上で提供しているほか、県が後援等を行っている芸術文化イベントについての広報を充実させるなど、県民の利便性に寄与してきており、今後もより一層使いやすいものとなるよう充実を図っていく。また、国民文化祭ホームページの立ち上げが必要であり、当該事業との調整、再編成等を含めて検討していく。

## 3 評価

### （1）施策幹事部長による1次評価

評価結果	●施策の推進状況
概ね順調	○芸術文化が暮らしに根付く環境づくりについては、各施設で独自の取組がなされ、概ね妥当なものであり評価できる。 ○県民による芸術文化活動支援については、補助金の交付件数、実績額の落ち込みはあるものの、文化による地域の活性化イベントとして定着するものも出てきており、歩みは早くないものの、広がりが期待できる。
	●課題と今後の推進方向 ○平成23年度に文化を再生し創造する元年として「あきた文化ルネサンス宣言」を行い、地域の文化力を高め、文化の力で地域を元気にしていく取組をスタートさせたところであり、24年度には「秋田県文化振興条例（仮称）」を策定し、26年度「国民文化祭」の開催まで、総合的に事業を推進し、短期間で秋田の文化力を高めるとともに、「国民文化祭」終了後も「文化力で地域が元気になる秋田」づくりを目指す。 ○地域の文化振興や後継者育成等につながることを期待できる地域活性型事業支援と若手アーティスト育成支援は、更に強力で推進する必要がある。 ○芸術文化活動支援については、主催者の幅広いニーズに対応できる補助事業となるよう検討する必要がある。

### （2）企画振興部長による2次評価

評価結果	●施策の推進状況
	●課題と今後の推進方向

## 4 評価結果の反映状況等（対応方針）

--

## 5 政策評価委員会の意見

--